



認知症の基礎知識

福井県済生会病院
村田憲治

認知症とは？

記憶力などが低下して、社会生活に支障
を来すようになった状態

記憶力低下 = 認知症 ではない

初期アルツハイマー病の症状

- ◆今聴いたことをすぐ忘れる（憶えられない）
- ◆同じことを何度も尋ねる（前にも訊いたということ自体を忘れている）
- ◆毎日確認しているのに、日付をよく間違える
- ◆物をしまいい込んで分からなくなる、盗られたと言う
- ◆運転中によく車を傷つけるようになる

認知障害に対する薬物療法

- ◆治療薬がある認知症は、アルツハイマー病だけ
- ◆現在4種類（内服3種類、貼付1種類）
- ◆症状の進行を遅らせる効果（進行しなくなるわけではない）

普段から頭を使っている人ほど、
認知症になりにくい！

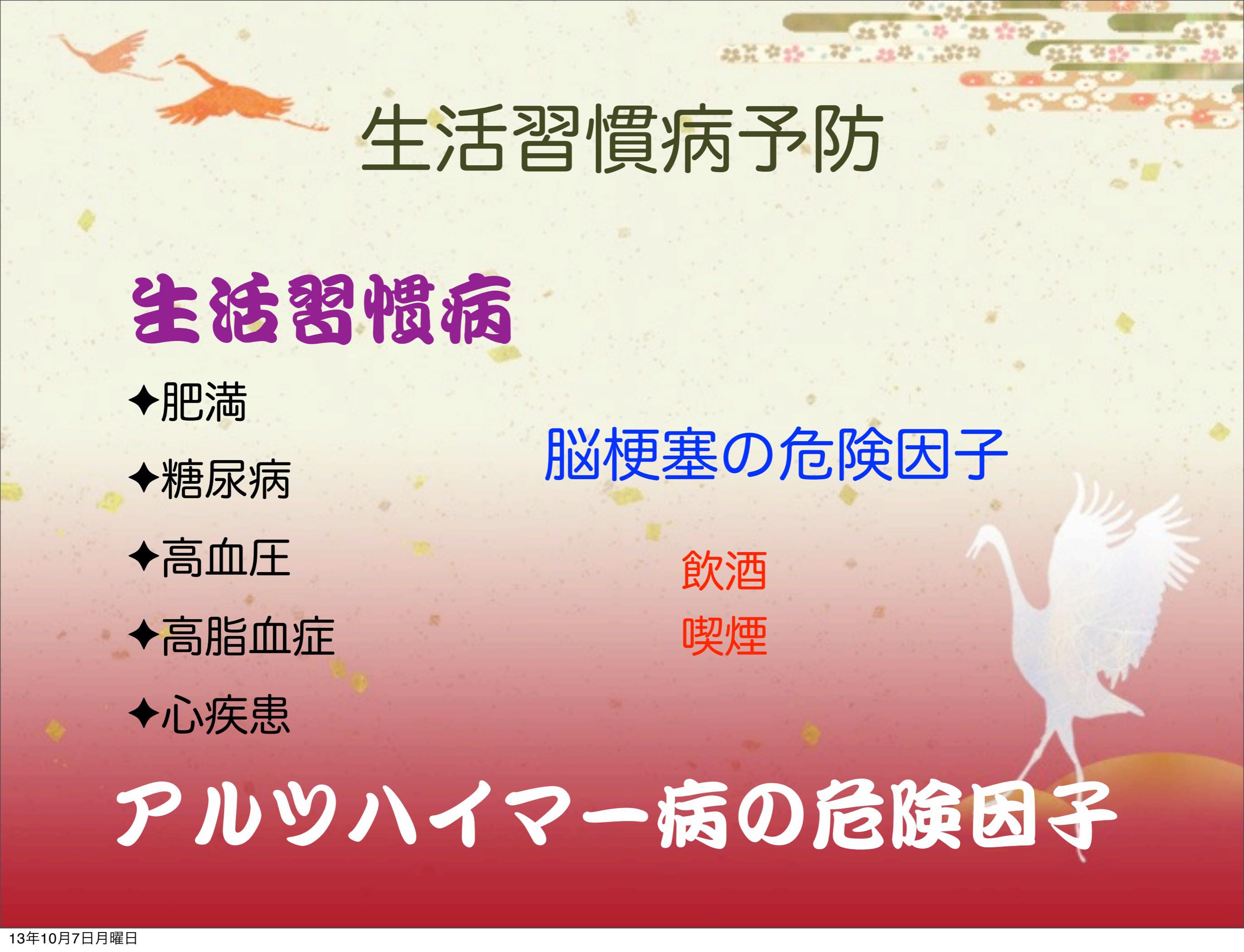




認知症の非薬物療法 (発症・進行予防)

- ◆知的活動習慣
- ◆有酸素運動
- ◆生活習慣病予防





生活習慣病予防

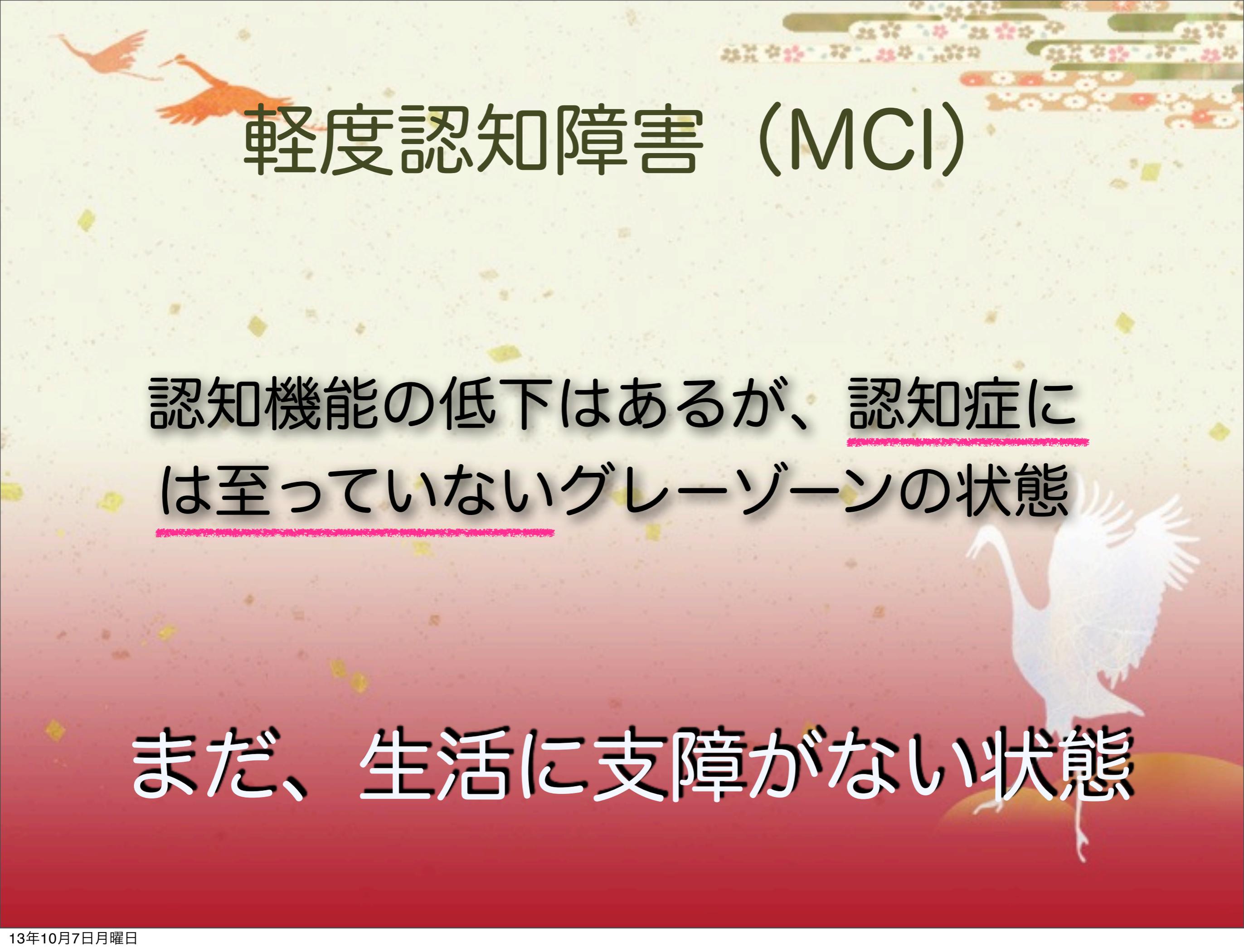
生活習慣病

- ◆肥満
- ◆糖尿病
- ◆高血圧
- ◆高脂血症
- ◆心疾患

脳梗塞の危険因子

飲酒
喫煙

アルツハイマー病の危険因子



軽度認知障害 (MCI)

認知機能の低下はあるが、認知症には至っていないグレーゾーンの状態

まだ、生活に支障がない状態

受診すべき状態とは？

- ◆同じ事を何度も訊く
- ◆物をしまい込んで、分からなくなる
- ◆妄想がある
- ◆怒りっぽくなった、言い訳が多くなった
- ◆車をよく傷つけるようになった
- ◆短い期間で急に様子が変わったとき



アルツハイマー病で見られる問題

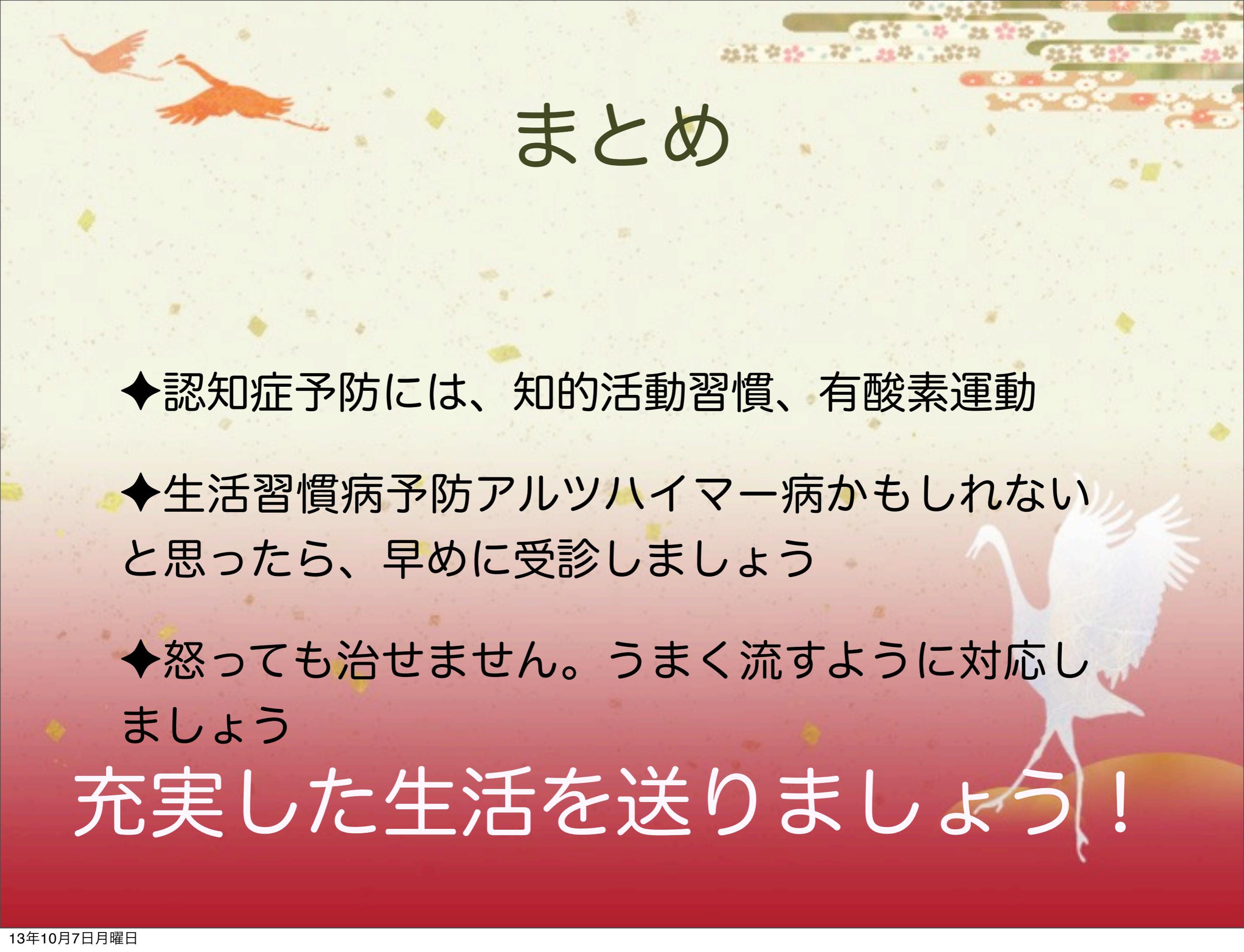
- ◆同じことを何度も聴かされる
- ◆物盗られ妄想
- ◆徘徊

原因は記憶障害

家族の対応

- ◆注意しても、直せない **病気の症状！！**
- ◆否定しないことが基本
- ◆話を合わせながら、話題をそらす





まとめ

◆認知症予防には、知的活動習慣、有酸素運動

◆生活習慣病予防アルツハイマー病かもしれない
と思ったら、早めに受診しましょう

◆怒っても治せません。うまく流すように対応し
ましょう

充実した生活を送りましょう！